

# 逗子海水浴場のあり方検討会 概要

平成 26 年 8 月 29 日（金） 14：30～16：30

逗子市役所 5 階 第 6 会議室

## 1. 開会

- ・ 資料確認
- ・ 事務局よりあり方検討会は傍聴できることと、メディアの頭撮りについて説明。
- ・ 事務局より今後の予定について説明

## 2. 議題

- ・ 座長あいさつ
- ・ 座長よりあり方検討会の進行について

### (1) 安全で快適なファミリービーチとしての逗子海岸の具体像について

～条例の 4 項目について～

- パラスルの客待ち事前展開は禁止だが、守られていたのか？

→ 海岸組合のルールでは、1 店舗 2 本まで展開できることになっている。その他のパラソルについては、利用者の要望があってから出していた。

→ ルールは最低限守られていたということか。

→ そうである。また、今年はサンシェード等に関する海の家と利用者のトラブル・苦情も聞いていない。

→ 新宿地区青少年育成推進の会の前会長より、質問を預かっている。内容は、海の家がパラソルを波打際ぎりぎりまで展開し利用者から 2,500 円の料金を取っていること、利用者が持参して設置したパラソルに対して海の家を権利を主張し移動させていたこと、であるのだがどうなのか。

→ パラスルの料金は 1,500 円で、客と海の家とのトラブルについては、特殊な例だと思われる。

→ わかった。その様に回答しておく。

- 資料 2 の警備員の注意件数については、利用者のみなのか、海の家も含まれているのか。

<事務局>→ 原則全て利用者である。

→ 規制内容を守っていない海の家が何軒かあったと聞いているが。

<事務局>→ 海の家の中での利用者の違反については海の家が注意するようにし、海の家違反については海岸組合に注意してもらうようにしていた。市から指導書等は出してはいない。

<座長>→ ある程度守られていたという理解でよいのか。

<事務局>→ 市で、海岸組合を通じてお願いをして海岸組合の中で処理してもらった。

→ 全体的には海岸組合も非常に努力しており良かったが、従業員レベルなのかもしれないが、100%守られているわけではなかった。実際に見たのは、ワイルドボアが風の音が強い

日に紛れて音楽を流していたので、海岸組合に注意してもらった。

<座長>→ 守れていない海の家はトータルで見たときには何%かで、100%ではないけれども許容範囲内で守ってもらったということだろうか。

→ 商店街で酒類を買って海岸に行く利用者が見受けられたが、パトロールした限りでは砂浜で飲酒している利用者は見なかった。皆海の家で飲酒していたのだろうか。

→ 実際には、砂浜で飲酒している利用者もいたが、大騒ぎはせず大人しく飲んでいるだけなので、かわいい程度のものであった。

→ 警備員がきめ細かく、飲酒を注意していた。最初は、まあ良いだろうと飲んでいる者もいたのだろうが、途中から余り見なくなった。周知されていたのではないか。

→ 海岸中央の入り口で、警備員が酒類を持って海岸に来る利用者を見つけては、注意していた。

<座長>→ 条例の4項目については、全体的にみるとほとんど守られていたということである。

### ～予算に関することについて等～

(※予算に係る項目については、下線    を引いてあります)

- 仕事が終わって散歩をしているときに、海の家が閉まっていて飲めなかったという現状があったので、営業時間を少し延ばしも良いのでは。
- まず、海岸組合は、閉店時間は大変だったと思うが守っていた。次に、今年の海の状況を好ましく思い、実際に海の家で食事してみようという近隣住民が8月になって増えていた。インターネットでの知らない人からの口コミでもそのような人が多かった。営業時間を延ばせば、近隣住民も増えるのではないか。3点目として、将来的には、朝の営業もできるような時間を決めて欲しい。
- 規則に関することについては、変更したことによってどれだけの影響が出るかが現段階では見えないので、慎重に討論するべきだと考える。少し変更するだけで、状況は大きく変わってしまうこともある。
- 以前は、営業時間は日没までと考えていたが、資料6のとおり、ファミリービーチを壊す原因は何かを考えた結果、1時間位は延長しても良いのではと考えた。ただし、飲酒時間が伸びて酔客が増加し、風紀・治安が悪化することは恐れているので、仮に延長するならば、警備員のパトロールや、外灯の増設が必要ではないか。夜も安心できるファミリービーチであるべき。
- 今年これだけ規制が厳しくなり、組合も最終的には市の方針に沿うかたちの自主ルールで運営していたが、それでも100%守られなかったことが心配である。違反者がいる限りは、営業時間・音楽の協議について慎重になった方が良いと思う。

- 代表理事や役員の方が頑張っているにも関わらず、ルールを守っていない海の家が数軒あり、遊泳区域外でとんでもないことをしている者もいた。組合の意見も良くわかるが、安易に緩和の話をせず、今年の違反者への対処を担保できるようになってから、話をした方が良いと考える。
  - 土日の夕方に海岸でゴミ拾いをしていたが、酒類の缶・ビンのゴミが一番多かった。ルール・マナーの100%遵守を求めるのは無理だと思う。メディアでかなり取り上げられたが、テレビや新聞等を見ない人は知らないこともあるので、ルールを周知する方法について新たに何か必要なのではないかと考える。
  - 神奈川県「かながわの海岸利用のあり方検討会」では、観光資源と住環境やファミリービーチの兼ね合い等について話をし、長期間のビーチカフェなどの議論が行われている。広い意味で既成概念に捕らわれず、良いビーチにする話し合いをするべき。また、予算に関わることにについてあり方検討会としての意見を早く決めないと、何もできなくなるのではと危惧している。
  - 資料6のとおり、シャワーの増設と使用時間の延長、夏季に警察官が常駐できる交番等の設置、海の家のし尿等の浄化装置の整備を提案する。
  - シャワーが1日中使えるようになると、海の家更衣室の利用率が下がってしまう恐れがある。また、条例は、警備員が注意をしても遠ざかると再び違反する者が多く、そのような意味ではほとんど守られていなかったのもので、予算がかかるかもしれないが、警備員について、2・3年は今年と同じ体制にしないと定着しないのではないかと。
  - 今年の江ノ島の海水浴場では、防犯カメラを設置してある程度の効果があったと聞いている。980万円あるならば、防犯カメラと警備員を併用して効率を良くすることも方法の1つとしてある。
  - 海岸組合と市は係争中であり、海岸組合に協力的な方も増えてきて自助努力により良くなってきているが、一部反勢力のような方がいるのも知っている。なので、ひっくり返された場合に、1からやり直す可能性があることを、皆さんに忘れないで欲しい。海岸組合とも、本当の意味で市と一緒にやっていく必要がある。
  - ルールが定着するまでは、警備費等も含めた全部を今年の現状で維持して欲しい。海の家の方々は、日本一安全・安心なビーチとしてアピールし、営業形態を変えた方が良いのではないかと。あと、長期的な要望としては、下水道の整備や交番の移設をして欲しい。
- 今年、警察官は多い時には1時間に1回海水浴場に来ており、大幅に治安が向上した。また、7月14日近辺では、私服警察官も居た。

〈座長〉→ 逗子警察署が応援を呼び、制服警察官がパトロールに来ていたのは大きな抑止力となったので良かった。仕事とは言え、警備員もこまめに回っていた。その中で、市はパトロール等で民間ボランティアに甘えるのではなく、予算化して警備員を増強するべきだと思い、また、逗子のルールの周知が足りなかったのは今年の反省点だと考える。また、駅から海までの道にタバコの吸い殻が多かったのでモラルについて、市全体でパワーアップする必要がある。

● 今年は周知の準備期間が短かったとは思いますが、来年の夏に向けては、今年以上に周知に予算をかけて欲しい。日本一厳しいというのは、裏を返せばブランドとなる。

● 資料6のとおり、今年の規制については継続するべきだと考える。

● あり方検討会として一番大切なのは、年数をかけて、海水浴場はこうあるべきだというコンセプトの確認だと考える。細かいことに関しては、コンセプトを確認したうえで行う方が良いと考えるのだが。

→ ファミリービーチというコンセプトがあるが。

→ それに異議はないが、正しいかどうかの確認を行っていない。今は皆さん正しいと考えているが、それが来年以降に向けてきちんと守られていくかどうかかどうかだと思う。

● 今日出た意見等を、羅列でも構わないのでまとめた物を作成・配布して欲しい。現在、ファミリービーチの定義はなく、その定義付けは難しい。今のルールを維持して、数年かけて守られているかモニターすれば、自然にイメージが固まっていくのではないか。個人的には、今のルールは変えるべきではない。また、市民ではなく利用者の目線で見たと際に、逗子駅から海岸までのおもてなし体制はまだままであり、海までの案内看板等の整備等はすぐに出来るのではないか。その他は、資料4に書いてあるとおりである。

● 現在、逗子海水浴場はブランド力が上がっているので、アピールに予算を使うべきだ。海岸組合にとっても良いことだと思うので、市と市民で一丸となってアピールするべきだ。

● この会としては、現実的には予算が取れるかわからないが、優先順位については行政・議会が判断すれば良いことで、あり方検討会で必ずしも決める必要はないのではないかと。市民としては、全てがすぐに欲しい。要望として言いつ放しで良いのでは。

→ どれにいくら予算がかかる、ということを市民は知らなくて良いと思う。要望として出して、どのような者が必要だということを市の方で整理してもらえば良い。

● 市長は記者会見で当初の目的は達成したと言っていたので、あり方検討会としては条例に対して、しばらく継続で良いとの合意を取り、そのうえで、1つ1つ様々な要望・提案を市長にすればよいのではないかと。それを何年か続けていけば自然と、海の家と市民、市

外から来る利用者のための海岸の姿が出来てくるのではないか。また、海の家が閉店するため、19時30分ごろにはもう真っ暗なので、海岸に外灯を増やして欲しい。さらに、18時30分に海の家が閉店すると、一度にお客さんが来るので受け入れられるキャパシティを超えてしまい、お店に入れないお客さんは帰ってしまうため、トータルで考えると回転が下がり困っている。市全体でトータルで考える必要がある。

- 現状のルールを維持すれば、3～5年経過すればそれなりに良いビーチになるだろう。ただ、このあり方検討会はそれを早めるのが役割ではないか。現在の海の家は、鎌倉・葉山に比べて小規模で非効率であるため、海の家を整理統合した方が良いと考えるので、自助努力でできないのであれば、市と協同して行う必要があるとして、前回までの提案（ビーチカフェ）を行ってきた。また、汚水・排水対策として下水道を整備するのであれば、上に通路を作り、様々な人が通年活用できる方が良い、というのが提案である。新たな提案としては、資料5のとおり砂浜の減少を防ぐために、養浜ではなく人工リーフを作ってはどうか。
  
- 市長は、記者会見であり方検討会の意見を踏まえて、今後を判断すると言っている。例えば、下水道の整備については、長期的な課題だが、あり方検討会で出たということを市長に報告すれば、市長はそれを踏まえて判断してくれるだろう。なので、意見を出すということが大事だと考える。
  
- ★ 議論の結果、項目毎にどのような意見があったのかを記入する様式を、次回  
の開催通知・出欠席連絡表とともに送付して、回答を返送して頂き、事務局が  
取りまとめた物をあり方検討会に提示するという事となった。

## (2) その他

- 海水浴期間終了後の解体期間においても、廃材や車両の問題があるので、注目して欲しい。

## 逗子海水浴場のあり方検討会概要 別表

2014年8月29日の「逗子海水浴場のあり方検討会概要」における意見・提案を項目別に分類した表となっています。

項目	内容
利用者・条例に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 実際には、砂浜で飲酒している利用者もいたが、大騒ぎはせず大人しく飲んでいるだけなので、可愛い程度のものであった。</li> <li>● 警備員がきめ細かく、飲酒を注意していた。最初は、まあ良いだろうと飲んでいる者もいたのだろうが、途中から余り見なくなった。周知されていたのではないか。</li> <li>● 条例の4項目については、全体的にみるとほとんど守られていたということである。</li> <li>● 土日の夕方に海岸でゴミ拾いをしていたが、酒類の缶・ビンのゴミが一番多かった。ルール・マナーの100%遵守を求めるのは無理だと思う。メディアでかなり取り上げられたが、テレビや新聞等を見ない人は知らないこともあるので、<u>ルールを周知する方法について新たに何か必要なのではないかと考える。</u></li> <li>● 警備員が注意をしても遠ざかると再び違反する者が多く、そのような意味ではほとんど守られていなかったの、予算がかかるかもしれないが、<u>警備員について、2・3年は今年と同じ体制にしないと定着しないのではないかと考える。</u></li> <li>● ルールが定着するまでは、<u>警備費等も含めた全部を今年の現状で維持して欲しい。</u></li> <li>● <u>逗子のルールの周知が足りなかったのは今年の反省点だと考える。</u></li> <li>● 今年の規制については継続するべきだと考える。</li> <li>● 今のルールは変えるべきではない。</li> </ul>
海岸組合・規則に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全体的には海岸組合も非常に努力しており良かったが、従業員レベルなのかもしれないが、100%守られているわけではなかった。</li> <li>● 仕事が終わって散歩をしているときに、海の家が閉まっていた飲めなかったという現状があったので、営業時間を少し延ばしも良いのでは。</li> <li>● まず、海岸組合は、閉店時間は大変だったと思うが守っていた。次に、今年の海の状況を好ましく思い、実際に海の家で食事してみようという近隣住民が8月になって増えていた。インターネットでの知らない人からの口コミでもそのような人が多かった。営業時間を延ばせば、近隣住民も増えるのではないかと考える。3点目として、将来的には、朝の営業もできるような時間を決めて欲しい。</li> <li>● 規則に関することについては、変更したことによってどれだけの影響が出るかが現段階では見えないので、慎重に討論するべきだと考える。少し変更するだけで、状況は大きく変わってしまうこともある。</li> <li>● 以前は、営業時間は日没までと考えていたが、資料6のとおり、ファミリービ</li> </ul>

	<p>一チを壊す原因は何かを考えた結果、1時間位は延長しても良いのではと考えた。ただし、飲酒時間が延びて酔客が増加し、風紀・治安が悪化することは恐れているので、仮に延長するならば、警備員のパトロールや、<u>外灯の増設</u>が必要ではないか。夜も安心できるファミリービーチであるべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 今年これだけ規制が厳しくなり、組合も最終的には市の方針に沿うかたちの自主ルールで運営していたが、それでも 100%守られなかったことが心配である。違反者がいる限りは、営業時間・音楽の協議について慎重になった方が良くと思う。</li> <li>● 代表理事や役員の方が頑張っているにも関わらず、ルールを守っていない海の家が数軒あり、遊泳区域外でとんでもないことをしている者もいた。組合の意見も良くわかるが、安易に緩和の話をせず、今年の違反者への対処を担保できるようになってから、話をした方が良く考える。</li> <li>● 海の家の方々は、日本一安全・安心なビーチとしてアピールし、営業形態を変えた方が良いのではないか。</li> </ul>
<p>中長期的・今後についての意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 神奈川県「かながわの海岸利用のあり方検討会」では、観光資源と住環境やファミリービーチの兼ね合い等について話し、<u>長期間のビーチカフェ</u>などの議論が行われている。広い意味で既成概念に捕らわれず、良いビーチにする話し合いをするべき。また、予算に関わることについてあり方検討会としての意見を早く決めないと、何もできなくなるのではと危惧している。</li> <li>● 長期的な要望としては、<u>下水道の整備や交番の移設</u>をして欲しい。</li> <li>● あり方検討会として一番大切なのは、年数をかけて、海水浴場はこうあるべきだというコンセプトの確認だと考える。細かいことに関しては、コンセプトを確認したうえで行う方が良く考えるのだが。 <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ファミリービーチというコンセプトがあるが。</li> <li>→ それに異議はないが、正しいかどうかの確認を行っていない。今は皆さん正しいと考えているが、それが来年以降に向けてきちんと守られていくかどうかだと思う。</li> </ul> </li> <li>● 現在、ファミリービーチの定義はなく、その定義付けは難しい。今のルールを維持して、数年かけて守られているかモニターすれば、自然にイメージが固まっていくのではないか。</li> <li>● 現在、逗子海水浴場はブランド力が上がっているので、<u>アピールに予算を使うべきだ</u>。海岸組合にとっても良いことだと思うので、市と市民で一丸となってアピールするべきだ。</li> <li>● 市長は記者会見で当初の目的は達成したと言っていたので、あり方検討会としては条例に対して、しばらく継続で良いとの合意を取り、そのうえで、1つ1つ様々な要望・提案を市長にすればよいのではないか。それを何年か続けていけば自然と、海の家と市民、市外から来る利用者のための海岸の姿が出来てくるのではないか。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現状のルールを維持すれば、3～5年経過すればそれなりに良いビーチになるだろう。ただ、このあり方検討会はそれを早めるのが役割ではないか。現在の海の家は、鎌倉・葉山に比べて小規模で非効率であるため、海の家を整理統合した方が良いと考えるので、自助努力でできないのであれば、市と協同して行う必要があるとして、前回までの提案（<u>ビーチカフェ</u>）を行ってきた。また、汚水・排水対策として下水道を整備するのであれば、上に<u>通路を作り、様々な人が通年活用</u>できる方が良い、というのが提案である。新たな提案としては、資料5のとおり砂浜の減少を防ぐために、養浜ではなく<u>人工リーフ</u>を作ってはどうか。</li> </ul>
<p>予算に関する事項 がメインの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料6のとおり、<u>シャワーの増設と使用時間の延長、夏季に警察官が常駐できる交番等の設置、海の家やし尿等の浄化装置の整備</u>を提案する。</li> <li>● 今年の江ノ島の海水浴場では、防犯カメラを設置してある程度の効果があったと聞いている。980万円あるならば、<u>防犯カメラと警備員を併用</u>して効率を良くすることも方法の1つとしてある。</li> <li>● 市はパトロール等で民間ボランティアに甘えるのではなく、<u>予算化して警備員を増強すべき</u></li> <li>● 今年は周知の準備期間が短かったとは思いますが、来年の夏に向けては、<u>今年以上に周知に予算をかけて欲しい</u>。日本一厳しいというのは、裏を返せばブランドとなる。</li> <li>● 海の家が閉店するため、19時30分ごろにはもう真っ暗なので、<u>海岸に外灯を増やして欲しい</u>。</li> </ul>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● シャワーが1日中使えるようになると、海の家更衣室の利用率が下がってしまう恐れがある。</li> <li>● 海岸組合と市は係争中であり、海岸組合に協力的な方も増えてきて自助努力により良くなってきているが、一部反勢力のような方がいるのも知っている。なので、ひっくり返された場合に、1からやり直す可能性があることを、皆さんに忘れないで欲しい。海岸組合とも、本当の意味で市と一緒にやっていく必要がある。</li> <li>● 逗子警察署が応援を呼び、制服警察官がパトロールに来ていたのは大きな抑止力となったので良かった。仕事とは言え、警備員もこまめに回っていた。</li> <li>● 駅から海までの道にタバコの吸い殻が多かったのでモラルについて、市全体でパワーアップする必要がある。</li> <li>● 今日出た意見等を、羅列でも構わないのでまとめた物を作成・配布して欲しい。</li> <li>● 市民ではなく利用者の目線で見たと際に、逗子駅から海岸までのおもてなし体制はまだまだであり、<u>海までの案内看板等の整備等</u>はすぐに出来るのではないか。</li> <li>● この会としては、現実的には予算が取れるかわからないが、優先順位については行政・議会が判断すれば良いことで、あり方検討会で必ずしも決める必要はないのではないか。市民としては、全てがすぐに欲しい。要望として言い放して良いのでは。 → どれにいくら予算がかかる、ということを市民は知らなくて良いと</li> </ul>

	<p>思う。要望として出して、どのような者が必要だということを市の方で整理してもらえば良い。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 18時30分に海の家が閉店すると、一度にお客さんが来るので受け入れられるキャパシティを超えてしまい、お店に入れないお客さんは帰ってしまうため、トータルで考えると回転が下がり困っている。市全体でトータルで考える必要がある。</li><li>● 市長は、記者会見であり方検討会の意見を踏まえて、今後を判断すると言っている。例えば、<u>下水道の整備</u>については、長期的な課題だが、あり方検討会で出たということを市長に報告すれば、市長はそれを踏まえて判断してくれるだろう。なので、意見を出すということが大事だと考える。</li><li>● 海水浴期間終了後の解体期間においても、廃材や車両の問題があるので、注目していて欲しい。</li></ul>
--	--